取扱説明書

FlexView® 120
インフォメーションシステム

重要
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある場合、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。例えば ⚠ は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止の行為を示すものです。例えば ⃠ は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。例えば ⏚ は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信傷害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本製品は電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン（PC-11-1998）に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の承諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記に関わらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

EIZO、FlexView は株式会社ナナオの登録商標です。

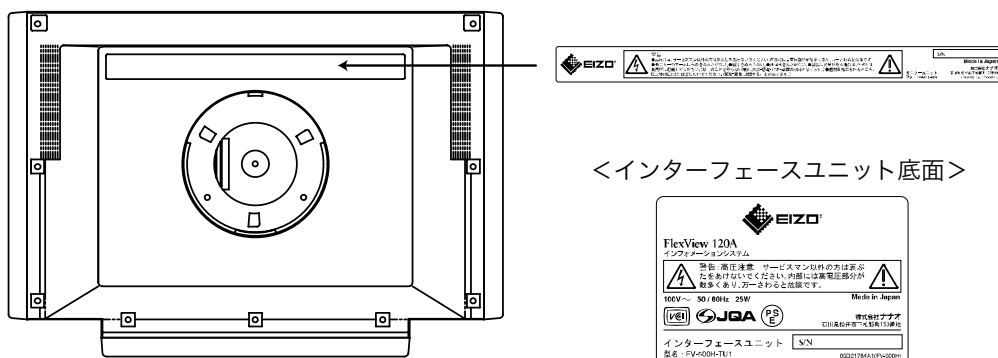
もくじ

⚠ 使用上の注意

■ 重要

本製品は日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This Product is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

ご使用になる前には、「使用上の注意」および製品本体の「警告表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。

＜警告表示位置＞

1. 一般的な注意

⚠警告

● **万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する**
そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。

● **故障状態で使用しない**
画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いて、修理をエイゾーサポートまで依頼してください。

⚠ 警告

● 裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

● 異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすいものや液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落としてしまった場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

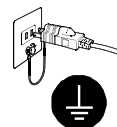
● 付属の電源コードを100VAC電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

● 電源コードや電源プラグを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

● 電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

● 雷が鳴り出したら、電源プラグやコード、アンテナ線には触れない

感電の原因となります。

● 液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。万一、漏れでた液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

● 電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

● インターフェースユニット取付用金具の取り扱いに注意する

インターフェースユニット取付用金具を誤って子供が飲み込むことがないようにしてください。窒息やけがの原因となります。万一、飲み込んでしまった場合にはただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- **濡れた手で電源プラグに触れない**
  感電の原因となります。

- **電源プラグの周囲にものを置かない/製品は電源コンセントの近くに設置する**
  火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

- **通風孔をふさがない**
  - 通風孔の上や周囲に本や書類など、ものを置かない。
  - 風通しの悪い狭いところに置かない。
  - 横倒しや逆さにして使わない。

  通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や故障、感電の原因となります。

- **モニターやアームにものをぶらさげない**
  モニターやアームにものを取り付けたり、ぶら下げたりしないでください。倒れたり、外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

- **定期的にアームの固定部を確認する**
  定期的にアームの固定部やバランスに異常がないか確認してください。固定部がゆるんだりしていると、アームが倒れてけがの原因となることがあります。

- **運搬のときは、接続コードを外す**
  コードを引っ掛け、けがの原因となります。

- **本製品を長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く**

- **クリーニングの際は電源プラグを抜く**
  プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

- **電源プラグ周辺は定期的に掃除する**
  ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

2. 設置上の注意

⚠ 警告

● **ぐらついた台や傾いた場所など、不安定な場所に置かない**

転倒・落下により、けがの原因となります。
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

● **次のような場所には置かない**

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

● **次のような誤った電源接続をしない**

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 表示された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。
- コンピュータのサービスコンセントへの接続。

● **他の機器の電源を取らない**

電源リード線の被膜を切って、他の機器の電源を取らないでください。リード線の電源容量、機器の規格値をオーバーし、火災や感電の原因となります。

● **アーム/モニターは安定した場所にしっかりと取り付ける**

アームはアームアタッチメント（オプション品）に付属の説明書にしたがい、しっかりと固定してください。
万一落としたり、破損した場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

● **モニタを移動するときは、先にアームをアームアタッチメントから外す**

アームアタッチメントを付けたままモニタを移動させると、アームアタッチメントの落下により、けがの原因となります。

● **ごみ廃棄場で処分されるごみのなかに本製品を捨てない**

本製品に使用の蛍光管（バックライト）のなかには水銀が含まれているため、廃棄は地方自治体の規則にしたがってください。

● **修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する**

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

⚠ 注意

● 付属の部品を使用する

必ず付属の部品を指定どおり使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できずに外れたりして火災や事故の原因となることがあります。

● 接続はただしくおこなう

正規の接続をおこなわないと、火災や事故の原因となることがあります。

● 電源コードはしっかり差し込む

しっかり奥まで差し込まれていないと、火災や感電の原因となることがあります。

● コード類の配線に注意する

人の往来などの妨げにならないように配線してください。コードに手足を引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。

正しくご使用いただくために

- 本製品を接続した状態で、アーム内に引き込まれたケーブルを引っ張ったりしないでください。無理に引っ張ると、ケーブルが断線したり、破損する場合があります。

液晶パネルの焼き付きについて

- 長時間同じ画面を表示したままにしないでください。
  長時間同じ画面を表示していると、その部分の輝度が変化し、画面が焼き付くことがあります。画面が焼きついてしまうと、完全に元に戻ることはありません。

- とくにPCモードでは、液晶パネルを保護するために「パワーセーブ」機能の使用をおすすめします（p.27）。

第1章 はじめに

このたびはFlexView 120Aをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

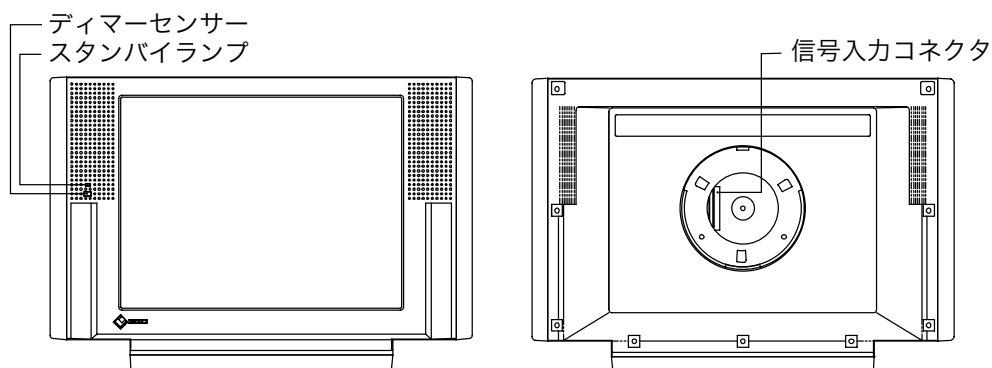
- 12.1型、高輝度TFT液晶採用による大型で明るい画面表示
- 周囲の照度変化に対応した自動調光
- 地上波放送1〜62CHとケーブルテレビ（CATV）放送 C13〜C63CHより、35CHまでのプリセットが可能（ケーブルテレビを利用する場合は、ケーブルテレビ事業者との契約が必要です）
  オートプリセットによるチャンネル自動検出をサポート
- PCモードサポート、800×600 75Hzまでの信号を表示可能
  USBマウスエミュレーションによるリモコンのマウス機能
- 抗菌樹脂リモコン、設置のし易さを考慮したフック採用

1-2. 梱包品の確認

下記のものがすべて入っているか確認してください。万一不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

・モニターユニット（アーム付属）.. 1
・インターフェースユニット.. 1
・インターフェースユニット取付用金具................................ 4
・リモコン.. 1
・二芯アダプタ.. 1
・取扱説明書（本書）.. 1

1-3. 各部の名称

■ モニターユニット

■ インターフェースユニット

■ リモコン（全体）

■ リモコン（ボタン）

[十字方向]ボタン

＜調整・設定＞メニュー起動時に、上・下・左・右の4方向に動きます。

PCモードでリモコンをマウスとして使用する際は、カーソルを上・下・左・右の4方向に動かします。

[選局]ボタン

TV/FMモードでチャンネルを切り替えるときに使用します。

PCモードでは、クリックボタンとして動作します（p.26）。

[音量]ボタン

TV/ビデオ/PC/FMの各モードで音量を調節します。

＜調整・設定＞メニューを終了するときにも使用します。

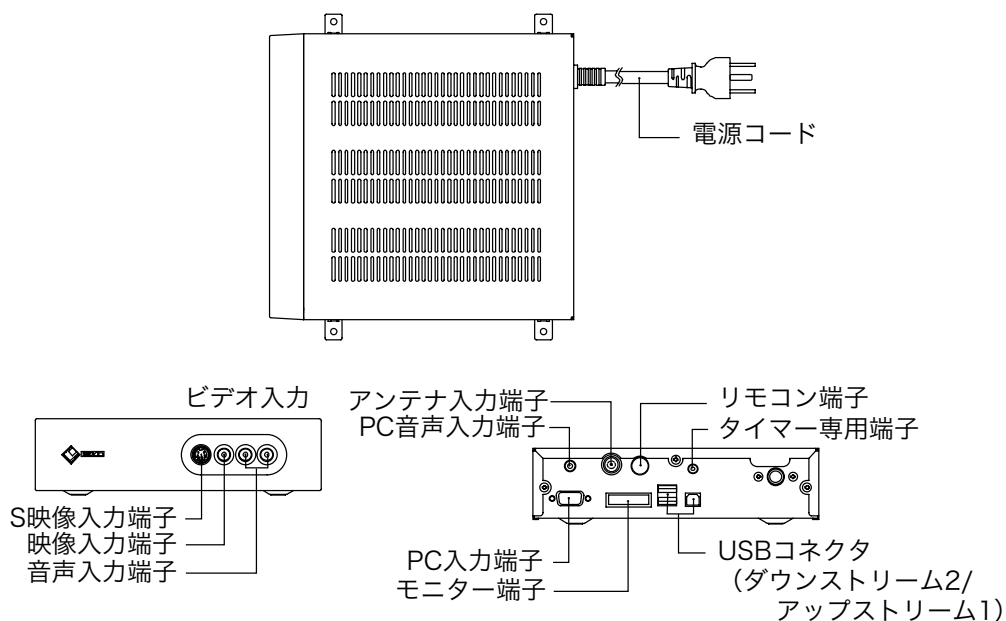
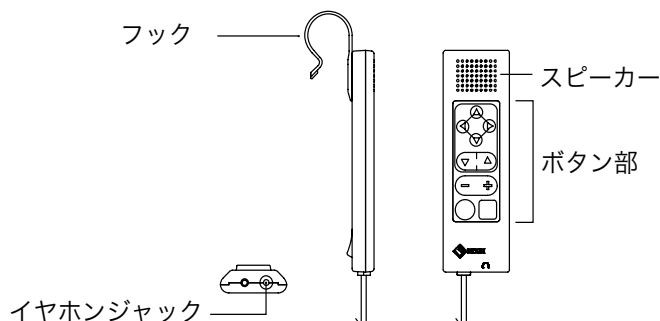
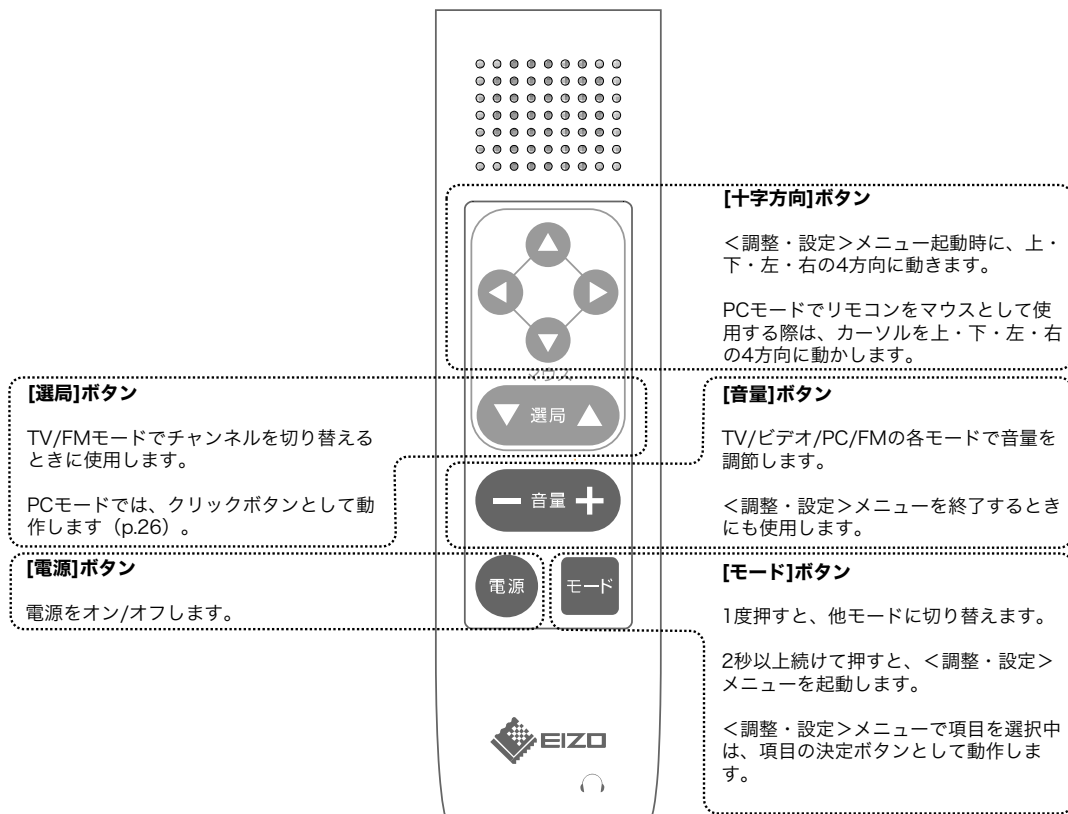
[電源]ボタン

電源をオン/オフします。

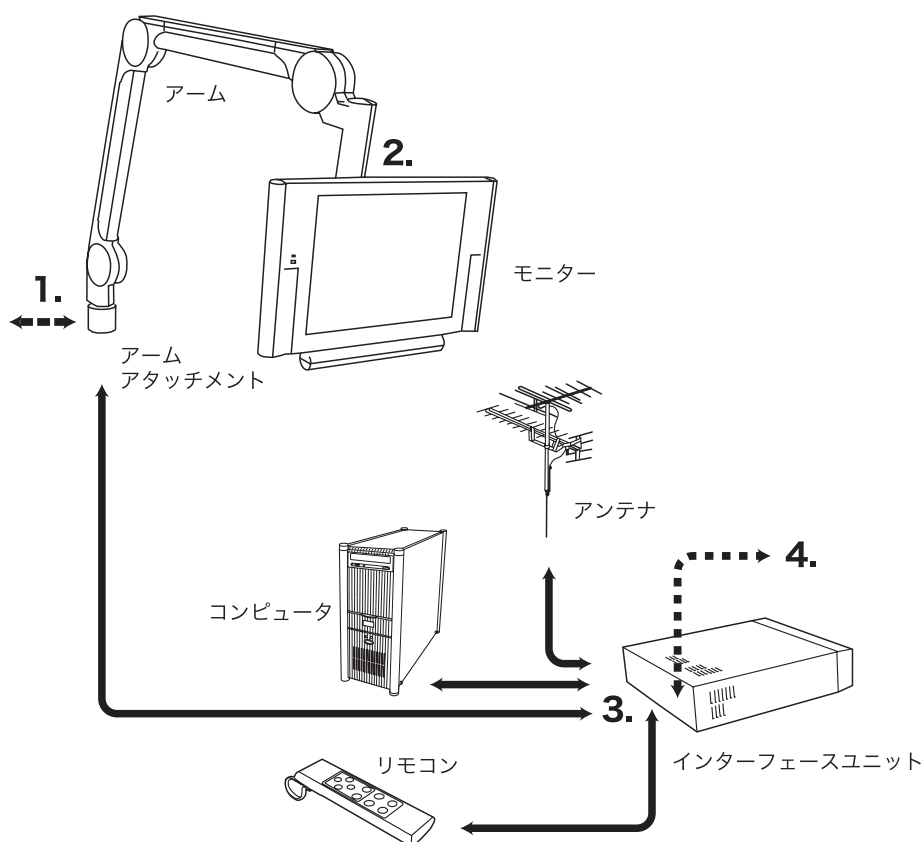
[モード]ボタン

1度押すと、他モードに切り替えます。

2秒以上続けて押すと、＜調整・設定＞メニューを起動します。

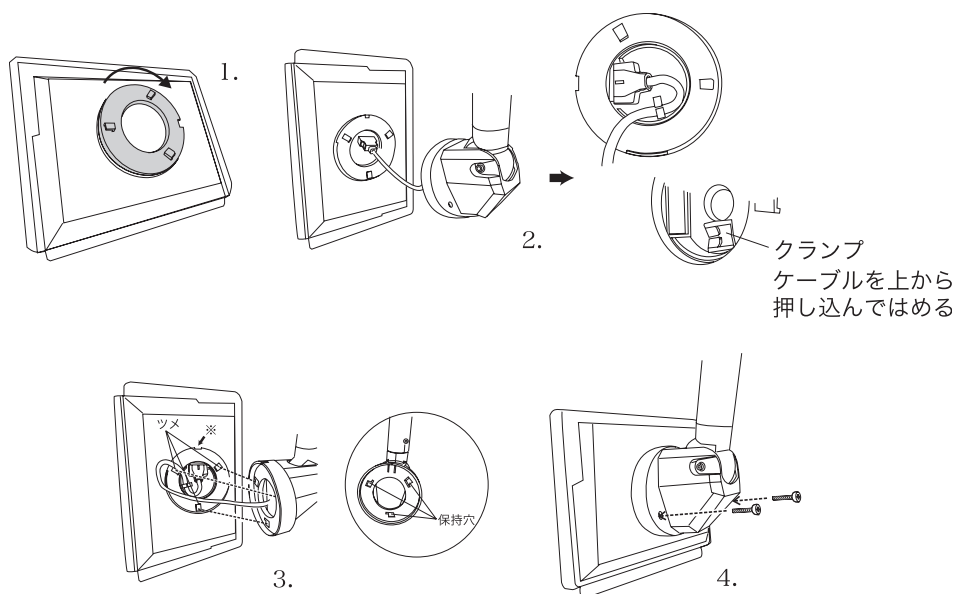
＜調整・設定＞メニューで項目を選択中は、項目の決定ボタンとして動作します。

第2章　設置方法

2-1. FlexView 120Aの設置

■ 設置図（例）

1. アームをベッドやサイドボードに取り付けます。

オプション品のアームアタッチメントを使用して取り付けます。取付方法については、アームアタッチメントに付属の説明書を参照してください。

2. モニターをアームに取り付けます。

1. モニター背面の固定リング（グレーの部分）を時計方向に止まるまで回します。
2. 信号ケーブルをモニターの信号入力コネクタに接続します。さらにモニターのクランプにケーブルを固定します。
3. モニタ背面の固定リングの※部が上になる状態で、モニター背面のツメ（3箇所）をアームの保持穴（3箇所）にはめ込み、モニターをカチッと音がするまで反時計回りに回してしっかりとはめ込みます。
4. 付属のビス（M3×14）で2箇所を固定します。

3. 外部機器をインターフェースユニットに接続します。

注意点

- 接続の際は、ケーブルを各コネクタにしっかりと差し込んでください。
- コンピュータ接続の際は、当社オプションケーブル「V55」をご使用ください。

1. モニターを「モニター端子」に接続します。
2. リモコンを「リモコン端子」に接続します。
3. 市販のアンテナ線を「アンテナ入力端子」に接続します。
4. コンピュータのD-Subミニ15ピンケーブルを「PC入力端子」に接続します。
5. コンピュータの音声入力ケーブルを「PC音声入力端子」に接続します。
6. ビデオ機器の映像入力端子、音声入力端子をそれぞれ「映像入力端子」、「音声入力端子」に接続します。S映像の場合は「S映像入力端子」に接続します。

4. 電源コードを電源コンセントに接続します。

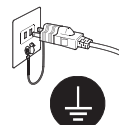
スタンバイランプが点灯（赤色）し、スタンバイ状態となります。

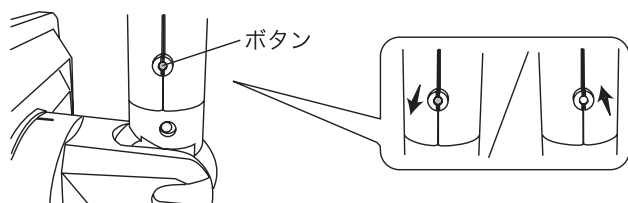
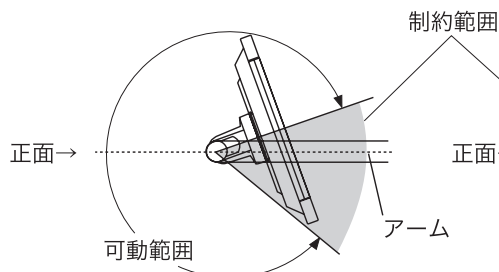
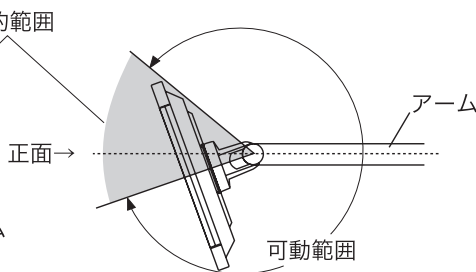
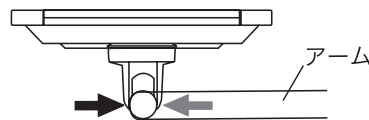
⚠警告

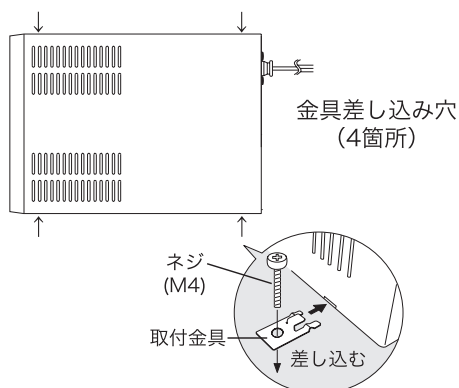
● **付属の電源コードを100VAC電源に接続して使用する**

付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

● **電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する**

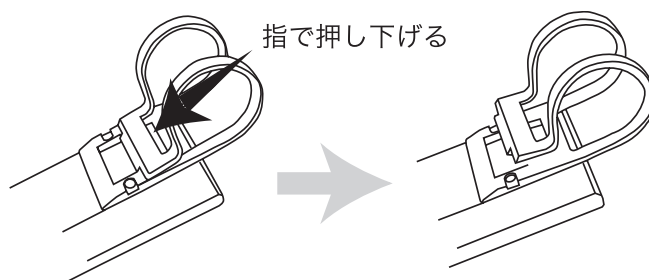
なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

参考 …▶ 【モニターの回転角について】

モニターは接続した信号ケーブルのねじれを防ぐため、回転角に制約（約60度の使用できない範囲）を設けています。制約範囲はアームにあるボタンの位置によって決まります（下図参照ください）。本機を使用する場所に応じてボタンの位置を変更してください。

現在の制約範囲を変更したい場合には、モニターとアームを平行にした状態（右図）で、ペン先などを利用してボタンを奥に突き当たるまで押してください。

参考 …▶ 【インターフェースユニット取付方法】

付属のインターフェースユニット取付用金具と、別途取り付ける側の仕様に合わせて市販のネジ（M4）を用意してください。取り付け側はしっかりと固定できる場所を選んでください。
取付用金具をインターフェースユニットの穴（4箇所）に差し込み、ネジで固定します。

注意点

指定した箇所以外には金具を差し込まないで下さい。また、インターフェースユニットが外れないよう、しっかりと固定してください。

参考 …▶ 【リモコン取付方法】

リモコン背面のフック部分のツメを軽く押し下げて、ロックを外します。
ループを取り付けるパイプ部分に引っ掛けます。

参考 …▶ 【コンピュータの設定について】

FlexView 120Aで利用できるコンピュータの表示解像度は、次の表のとおりです。FlexView 120Aにコンピュータを接続する場合は、あらかじめコンピュータの設定をおこなってください。

注意点

接続するコンピュータおよびグラフィックスボードにより、表示できる解像度と表示できない解像度がありますので、ご使用のコンピュータが表示できる解像度および周波数を確認の上、お使いください。

表示可能解像度 注1	垂直周波数	モニター画面に表示される解像度 注2	備考
640×400	70Hz	800×600	
640×480 (VGA)	～75Hz	800×600	
720×400	70Hz	800×600	DOS Text
800×600 (SVGA)	～75Hz	800×600	注3

注1　FlexView 120Aが対応している解像度です。上記以外の解像度（例えば832×624など）に設定すると、表示がずれたり、画面が欠けたり、画面が表示されなかったりすることがあります。

注2　液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機の液晶パネルには、横800個、縦600個の画素が敷き詰められています。このため、解像度が800×600であれば画像は画面いっぱいにそのままの比率で表示されますが、640×480などの低解像度の場合、800×600の解像度に拡大されて表示されます。

注3　接続するコンピュータがMacintoshの場合、機種により表示できるモードが異なります。そのため、ご使用のMacintoshによっては表示できる場合と表示できない場合があります。また、VGA/SVGAモードをサポートしていないMacintoshではこれらのモードは表示できません。

第3章 FlexView 120Aの設定

FlexViewでは各機器の接続により、TVモード、ビデオモード、PCモード、FMモード
の4つのモードを利用することができます。

FlexView 120Aを設置したら、次にTVモード、PCモード、FMモードの設定をおこな
います。

3-1. TVモードの設定（チャンネルの設定）

1. [モード]ボタンを押してTVモードに切り替えます。

2. リモコンの[モード]ボタンを2秒以上続けて押し、＜調整・設定＞メニューを起動します。
[選局]ボタン▽を使って＜TVチャンネル設定＞メニューを表示します。

＜TVチャンネル設定＞メニュー

3. [十字方向]ボタン△▽を使って、＜オート＞を選択し、[モード]ボタンを押して実行します。
チャンネルは検出順に設定されます。
チャンネルの検出が終了すると、機能は自動終了します。

4. 音量ボタン⊕、または⊖を押して、＜調整・設定＞メニューを終了します。

- チャンネルの設定状態は、＜TVチャンネル設定＞メニューの＜マニュアル＞を選択して、一覧を見ることができます。
- チャンネルの詳細設定はp.25を参照してください。

3-2. ビデオモードの設定

ビデオモードを使用するための特別な設定は必要ありません。ビデオモードを使用する
ときは、[モード]ボタンを押してビデオモードに切り替えます。

3-3. PCモードの設定（画面の調整）

1. [モード]ボタンを押してPCモードに切り替えます。

2. リモコンの[モード]ボタンを2秒以上続けて押し、＜調整・設定＞メニューを起動します。
[選局]ボタン▽を使って＜画面＞メニューを表示します。

＜画面＞メニュー

3. [十字方向]ボタン△▽を使って、＜オートアジャスト＞を選択し、[モード]ボタンを押して実行します。

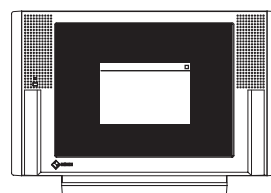
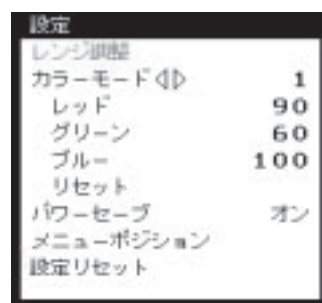
4. 画面に縦縞や横線が見える場合は＜クロック＞、＜フェーズ＞を選択して調整します。

5. 画面の表示位置がずれている場合は＜ポジション＞で調整します。

6. 次に、[選局]ボタン▽を使って＜設定＞メニューを表示します。

[十字方向]ボタン△▽を使って、＜レンジ調整＞を選択し、[モード]ボタンを押して実行します。
レンジ調整は、黒色背景に白いウィンドウを表示させておこなってください(右図）。

＜設定＞メニュー

7. 音量ボタン⊕、または⊖を押して、＜調整・設定＞メニューを終了します。

参考 …➤

画面の詳細設定はp.23を参照してください。

3-4. FMモードの設定（FM周波数の設定）

1. [モード]ボタンを押してFMモードに切り替えます。
FMモードでは画面表示はありません。

2. リモコンの[モード]ボタンを2秒以上続けて押し、＜調整・設定＞メニューを起動します。
[選局]ボタン▽を使って＜FM周波数設定＞メニューを表示します。

＜FM周波数設定＞メニュー

3. [十字方向]ボタン△▽を使って、＜FM周波数設定＞を選択し、[モード]ボタンを押します。

4. [十字方向]ボタン△▽を使ってメニュー内の任意のNo.を選択し、▷ を押して＜周波数＞を選択します。
さらに[十字方向]ボタン△▽で受信する周波数を選択します。

参考 …➤

周波数は76.1 MHz～89.9MHzの間で0.1MHzごとに設定することができます。

5. 任意のNo.をリモコンの切り替えで選局できないようにするには、[十字方向]ボタン△▽を使ってメニュー内の任意のNo.を選択し、 ▷を押して＜スキップ＞を選択します。
さらに[十字方向]ボタン△▽で＜スキップ＞と＜―（スキップしない）＞を切り替えます。

6. [モード」ボタンを押して設定を終了します。

7. 音量ボタン⊕、または⊖を押して、＜調整・設定＞メニューを終了します。

第4章 FlexView 120Aの機能

FlexView 120Aでは第3章で紹介した機能のほか、この章で説明する機能が利用できます。

(TV) (Video) (PC) (FM) は機能が利用できるモードを表わしています。

➡は、機能設定のしかたを指しています。

4-1. ＜調整・設定＞メニュー一覧

入力モードごとに、リモコンの[モード]ボタンを押して表示されるメニューが異なります。

➡ [モード]ボタン（2秒以上押す）

各メニューは[選局]ボタン△▽を押すごとに順に切り替わります。

項目の右に◁ ▷マークが表示されている場合は、その項目を選択した場合に直接[十字方向]キーの◁ ▷を使って調整/設定することができます。

それぞれの機能は、[モード]ボタンを押すと設定メニューが表示され、設定・調整後に[モード]ボタンを押すと完了します。

＜調整・設定＞メニューを終了するときは、音量ボタン⊕、または⊖を押します。

TVモードの＜調整・設定＞メニュー (TV)

TVモードの＜調整・設定＞メニューは、＜映像＞メニュー→＜音声＞メニュー→＜設定＞メニュー→＜TVチャンネル＞メニューの順で切り替わります。

映像
バックライト　オート
コントラスト　100
黒レベル　90
色の濃さ　+30
色合い　−10

＜映像＞メニュー

音声
オーディオモード　ステレオ
TV音声　メイン
スピーカー　モニター
バランス　0

＜音声＞メニュー

設定
メニューポジション
設定リセット

＜設定＞メニュー

TVチャンネル設定
オート
マニュアル

＜TVチャンネル設定＞メニュー

ビデオモードの＜調整・設定＞メニュー Video

ビデオモードの＜調整・設定＞メニューは、＜映像＞メニュー→＜音声＞メニュー→＜設定＞メニューの順で切り替わります。

PCモードの＜調整・設定＞メニュー PC

PCモードの＜調整・設定＞メニューは、＜映像＞メニュー→＜音声＞メニュー→＜画面＞メニュー→＜設定＞メニューの順で切り替わります。

＜映像＞メニュー

映像
バックライト オート
コントラスト 100

＜音声＞メニュー

音声
オーディオモード ステレオ
スピーカー モニター
バランス 0

＜画面＞メニュー

画面
オートアジャスト
クロック 1234
フェーズ 31
ポジション

＜設定＞メニュー

設定
レンジ調整
カラーモード 1
レッド 90
グリーン 60
ブルー 100
リセット
パワーセーブ オン
メニューポジション
設定リセット

FMモードの＜調整・設定＞メニュー FM

FMモードの＜調整・設定＞メニューは、＜音声＞メニュー→＜設定＞メニュー→＜FM周波数設定＞メニューの順で切り替わります。

4-2. 映像・画面表示機能

FlexView 120Aの表示に関する機能です。

＜映像＞メニュー

各モードにおける画面の微調整をおこなうことができます。

バックライト：

バックライトの明るさを調整します。
「オート」選択時は、周囲の明るさにより自動で照度が調整されます。
「マニュアル」を選択すると、好みの明るさに調整することができます。

コントラスト：

コントラストを調整します。

黒レベル（TV/ビデオモードのみ）：

画像の明るさを調整します。

色の濃さ（TV/ビデオモードのみ）：

色の鮮やかさを調整します。

色合い（TV/ビデオモードのみ）：

肌色の色合いを調整します。

＜調整・設定＞メニュー-＜映像＞メニュー-各調整機能

カラーモード選択機能 PC

PCモードでは3つのカラーモードが設定できます。また、赤、緑、青の各色を調整することもできます。

カラーモード1：　個体本来の色
カラーモード2：　青っぽい白色
カラーモード3：　赤っぽい白色

＜調整・設定＞メニュー-＜設定＞メニュー-＜カラーモード＞

＜カラーモード＞は項目を選択して、[十字方向]ボタン◁ ▷で直接切り替えられます。

カラーモードの初期設定値に戻す場合は、＜設定＞メニューで、カラーモードの＜リセット＞を選択します。

4-3. 音声機能

FlexView 120Aの音声に関する機能です。

＜音声＞メニュー

各モードにおける音声の設定をおこなうことができます。

オーディオモード：
ステレオまたはモノラルを選択することができます。

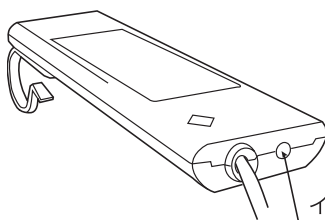
TV音声（TVモードのみ）：
TV映像が音声多重放送の場合に、音声出力のモードをメイン（主音声出力）またはサブ（副音声出力）に切り替えます。

スピーカー：
音声の出力先を、モニターのスピーカー、またはリモコンに切り替えます。音声出力しない場合にはオフを選択します。

バランス：
スピーカーの左右の出力バランスを調整します。

＜調整・設定＞メニュー-＜音声＞メニュー-各調整機能

イヤホンジャック

ヘッドホンやイヤホンを接続して、音声を聞くことができます。

イヤホンのジャックを差し込みます。

注意点

・ オーディオモードの設定が「モノラル」の場合、TV音声設定は利用できません（項目がグレー表示されます）。
・ スピーカーの設定を「リモコン」にしている場合、バランス調整で極度に右に調整すると、音声が聞こえなくなります。

＜音声＞メニューのスピーカー設定に関わらず、イヤホンやヘッドホンがイヤホンジャックに接続された場合は、音声はイヤホンジャックからのみ出力されます。

4-4. チャンネル設定機能

チャンネルに名前を付けたり、不要なチャンネルをスキップすることができます。

➡ <調整・設定>メニュー-<TVチャンネル設定>メニュー-<マニュアル>

チャンネルに名前を付ける

チャンネルに放送局コードなどの名前を付けることができます。利用できる文字はアルファベット“A～Z”と数字の“0～9”および“-”で、ネーム欄（4列）で設定します。

1. [十字方向]ボタン△▽でチャンネルの名前を設定したいNo.を選びます（選ばれているNo.のチャンネルは水色で表示されます）。

[十字方向]ボタン◁▷でネーム欄に移動します。選ばれたネーム欄は表示が変わります。

2. [十字方向]ボタン△▽を使って名前を付けていきます。

文字は[十字方向]ボタン△▽で“0～9”、“A～Z”、“-”の順（またはその逆）で送られます。ネーム欄に表示される“-”はスペースを表します。

[十字方向]ボタン▷を押すと右の列に選択が移動します。左の列に戻って編集したい場合は◁ボタンで列を指定します。名前の設定後は[モード]ボタンでNo.全体が選択されている状態に戻ります。

3. 続けて他のチャンネルに名前を付ける場合は1.～2.を繰り返します。

マニュアルプリセット

No	CH	ネーム	スキップ
1	4	NHK1	–
2	6	-ABC	–
3	8	NHK2	–
4	12	-DEF	スキップ
5	25	GHIJ	–
6	33	-KLM	–
7	37	-NOP	–
8	C13	-XXX	スキップ
9	C13	-XXX	スキップ
10	C13	-XXX	スキップ
11	C13	-XXX	スキップ
12	C13	-XXX	スキップ

不要なチャンネルをスキップする

チャンネル選局時に、プリセットされた任意のチャンネルNo.をスキップすることができます。

1. [十字方向]ボタン△▽でチャンネルの名前を設定したいNo.を選びます（選ばれているNo.のチャンネルは水色で表示されます）。

[十字方向]ボタン◁▷でスキップ欄に移動します。選ばれたネーム欄は表示が変わります。

2. [十字方向]ボタン△▽を押して「スキップ」という文字を表示させるとスキップが設定されます。スキップの設定後は[モード]ボタンでNo.全体が選択されている状態に戻ります。

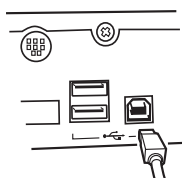
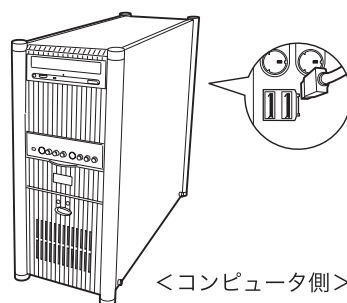
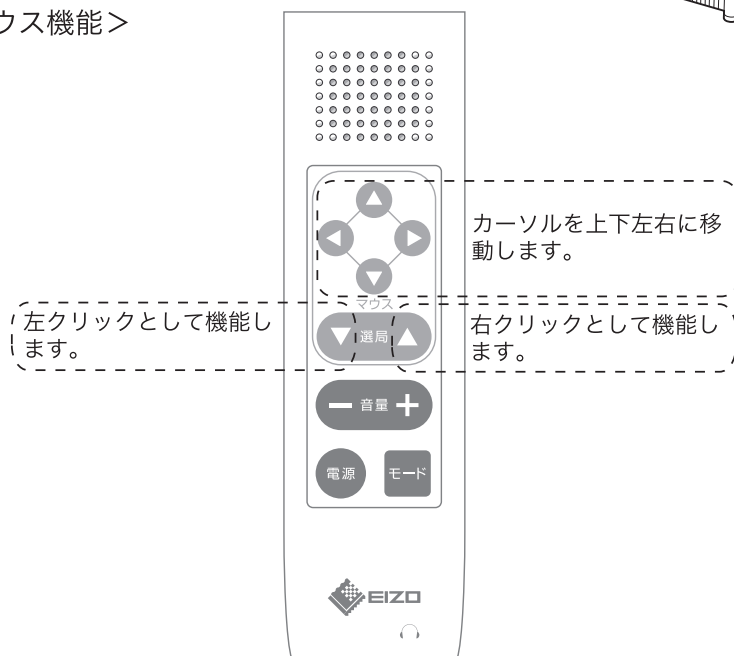
3. 続けて他のチャンネルにスキップを設定する場合は1.～2.を繰り返します。

4-5. マウス機能

FlexView 120AではインターフェースユニットとコンピュータをUSBケーブルで接続することにより、PCモードでリモコンをマウスとして利用することができます。

リモコンをマウスとして使用する PC

1. コンピュータとインターフェースユニットをUSBケーブルで接続します。

2. [モード]ボタンを押してPCモードに切り替えます。
リモコンの各ボタンはPCモード選択中、以下のように動作します。

＜マウス機能＞

注意点

＜調整・設定＞メニュー表示中はマウス機能は動作しません。

4-6. その他の機能

FlexView 120Aのその他の機能です。

パワーセーブ機能 (PC)

コンピュータからの信号がないときにモニターを省電力状態にする機能です。

➡ ＜調整・設定＞メニュー-＜設定＞メニュー-＜パワーセーブ＞

メニューポジション機能 (TV) (Video) (PC) (FM)

＜調整・設定＞メニューの表示位置を変えることができます。

➡ ＜調整・設定＞メニュー-＜設定＞メニュー-＜メニューポジション＞

オートメニューオフ機能 (TV) (Video) (PC) (FM)

＜調整・設定＞メニューは10秒間操作がない場合は自動でメニューを終了します。

第5章　故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

症状	チェックポイント / 対処方法
1.　**映像も音声も出ない**	□ 電源コードは正しく差し込まれていますか。 □ 外部機器の電源スイッチは「ON」になっていますか。 □ モニター端子のケーブルは正しく接続されていますか。
2.　**映像が出ない**	□ 明るさは正しく調整されていますか。<バックライト>、<コントラスト>の設定を確認してみてください。（p.23） □ FMモードになっていませんか。[モード]ボタンを押して他のモードに切り替えてみてください。
3.　**音声が出ない**	□ イヤホンが接続されたままになっていませんか。 □ <音声>メニュー、<スピーカー>の設定がオフになっていませんか。
4.　**画面が明るすぎる/暗すぎる**	□ <バックライト>、<コントラスト>を調整してください。（液晶モニターのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。）
5.　**画面に緑、赤、青、白のドットが残る、または点灯しないドットが残る**	□ これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6.　**残像が現れる**	□ 長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の画像が現れることがあります。これは液晶の特性によるもので、別の画面が表示されてしばらく経過すると解消されます。

症状	チェックポイント / 対処方法
7.　TVモードの映りが悪い	□ アンテナはインターフェースユニットにしっかり接続されていますか。 □ 電波状態が悪い場合も考えられます。
8.　PCモードで、以下のような画面が表示される Signal Error	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 □ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 □ コンピュータの電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 □ コンピュータのグラフィックスボードのユーティリティなどで適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
9.　PCモードで画像の位置が適正でない	□ ＜ポジション＞を調整してください。
10. PCモードで画面に縦線が出ている/画面の一部がちらついている	□ ＜クロック＞を調整してください。
11. PCモードで画面全体がちらつく、にじむように見える	□ ＜フェーズ＞を調整してください。

第6章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

お手入れは4ページの「使用上の注意」をよく読んでからはじめてください。

注意点

クリーニングの際には溶剤や薬品などを使用しないでください。
キャビネットやモニターパネル面をいためる原因となります。

インターフェースユニット
モニターキャビネット
アーム
リモコン

やわらかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

液晶パネル面

汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。

・ 液晶パネル面のクリーニングには、EIZOディスプレイクリーニングキットScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。
・ 年に1度は内部の掃除・点検をエイゾーサポートにご相談ください。内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。（内部の掃除・点検は有料となります。）

第7章 仕様

■ FlexView 120A

モニター

液晶パネル	31cm（12.1）型カラーTFT、0.3075mmドットピッチ クリア処理保護パネル、視野角：上下90°/左右110°
表示サイズ	246.0 mm（水平）×129.6 mm（垂直）
推奨解像度	800ドット×600ライン
最大表示色	1619万色
内蔵スピーカー	ステレオ、20×40mm
寸法	370 mm(幅)×258 mm(高さ)×47 mm(奥行き)
重量	2.0 kg
モニター接続ケーブル長	全長3m/全長5m

インターフェースユニット

入力信号	TV	F接栓、NTSC方式 1〜62CH/C13〜63CH、日本仕向
	ビデオ（映像信号）	ピンジャック/S端子、NTSC方式、S端子優先
	ビデオ（音声信号）	ピンジャック、L/R
	PC （映像信号）	D-Subミニ15ピンコネクタ、アナログRGB、VESA DDC2B対応 水平走査周波数：31 kHz〜48.5 kHz（自動追従） 垂直走査周波数：55 Hz〜75 Hz（自動追従） ドットクロック：最大50 MHz
	PC （音声信号）	ステレオミニジャック
	FM	76.1 MHz〜89.9 MHz
電源		AC100V±10%、50/60 Hz、0.5A
消費電力		25 W（最大）/3W以下（節電モード、リモコン電源OFF時）
寸法		200.5 mm(幅)×53.5 mm(高さ)×213.5 mm(奥行き)
重量		1.4 kg

リモコン

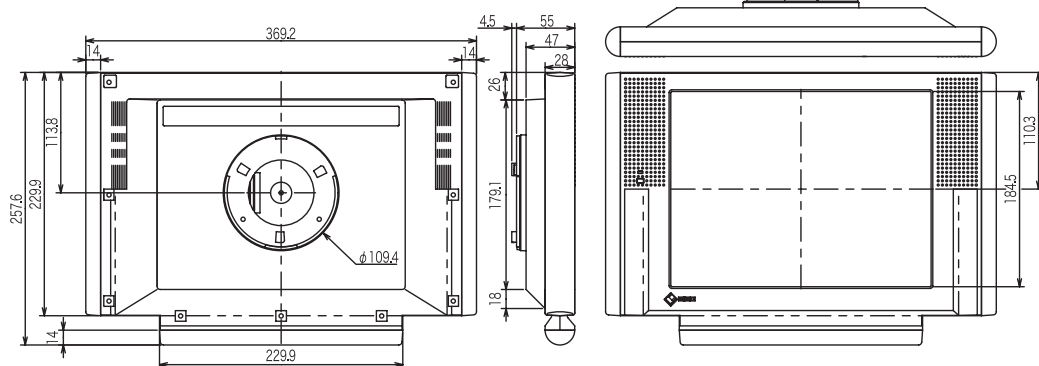
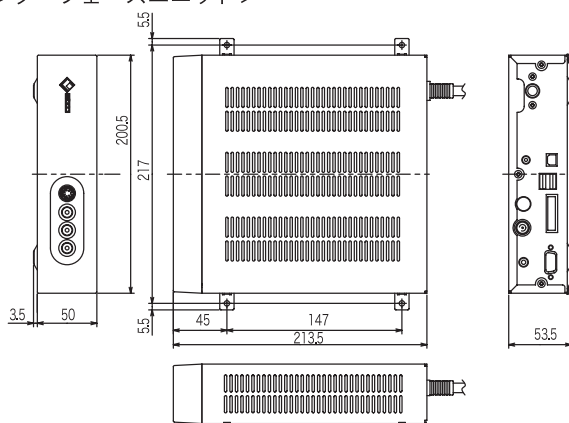
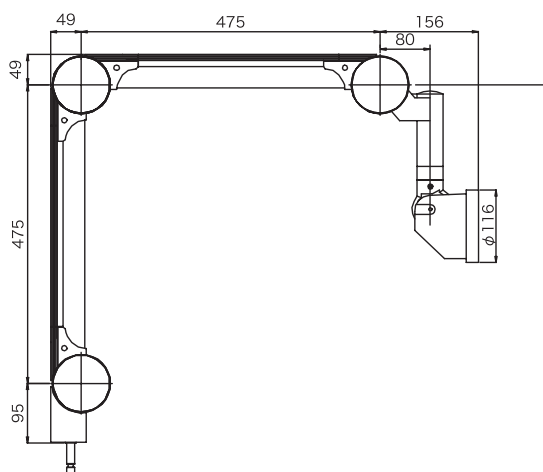
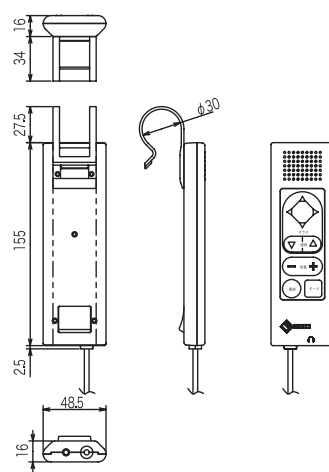
通信方式	ワイヤード式
ボタン（キー）数	10（4方向十字方向ボタンを含む）
内蔵スピーカー	モノラル、φ28mm
使用電源	インターフェースユニットより専用ケーブルで供給
寸法	48.5 mm(幅)×158 mm(高さ)×20 mm(厚み)
重量	150 g（フック、ケーブル重量をのぞく）
ケーブル長	2 m

環境条件・適合規格

周囲温度	動作時	0〜35℃（インターフェースユニット：0〜40℃）
	保存時	-20℃〜60℃
周囲湿度		30〜80% R.H. 結露なきこと
適合規格		VCCIクラスB、S-JQA

■ 外観寸法

単位：mm

＜アーム＞

＜リモコン＞

第8章 アフターサービス

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

- 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容
  - お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
  - お買い上げ年月日・販売店名・モデル名・製造番号
    （製造番号は、インターフェースユニット部の底面ラベル上に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
  - 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

当社では、本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低5年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

アフターサービスについてご不明の場合には

最寄りのエイゾーサポートにお問い合わせください。

	TEL	FAX
エイゾーサポート仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-9 バイパス斎喜ビル	(022)782-9770	(022)782-9771
エイゾーサポート東京 〒330-0834 さいたま市天沼町1-76-1 沢田ビル	(048)642-7717	(048)642-5233
エイゾーサポート厚木 〒243-0021 厚木市岡田3201番地 シカシン75ビル	(046)229-7003	(046)229-7005
エイゾーサポート名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル	(052)232-0151	(052)232-7005
エイゾーサポート北陸 〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地	(076)274-6260	(076)274-2416
エイゾーサポート大阪 〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル	(06)6414-3770	(06)6414-3771
エイゾーサポート福岡 〒810-8607 福岡市中央区渡辺通3-6-11 フコク生命ビル	(092)762-2170	(092)715-7781

*営業時間/月曜日～金曜日(祝祭日および弊社休日をのぞく） 9:30～17:30

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品などには重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しください。
- 本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細についてはエイゾークイックコールセンターまでお問い合わせください。

[エイゾークイックコールセンター]
・電話での問い合わせ受付
(本社)　TEL. (076)274-2474
(東京)　TEL. (03)5476-8220
(大阪)　TEL. (06)6396-0357
月曜日～金曜日（祝祭日および弊社休日をのぞく）10:00～17:00

・FAXでの問い合わせ受付
FAX. (076)274-2416 （24時間受付）

※ 但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）でおこないます。